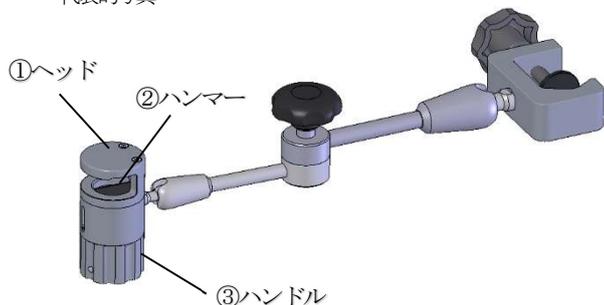


機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 チューブ用クランプ 43223000
チューブクランプ CC-1

【形状・構造及び原理等】

代表的写真



※ヘッドには以下のタイプがある。

型式	対応チューブ径(inch)
CC1-1/4	1/4 × 1/16
CC1-3/8	3/8 × 3/32
CC1-1/2	1/2 × 3/32

【作動・動作原理】

ヘッドにチューブを装着し、ハンドルを回すことにより内部に固定されたネジが回転してハンマーが滑動し、チューブを把持・圧迫する。

【使用目的又は効果】

チューブを遮断するか、つまむための器具をいう。通常、検査室で使用するが、医療施設で使用する汎用のものもある。本品は再使用可能である。

【使用方法等】

1. 使用方法

- (1)使用前に、必要に応じて洗浄・消毒等を行う。
- (2)ヘッドにチューブを設置する。
- (3)ハンドルを回し、チューブを把持・圧迫する。
- (4)必要に応じて、把持・圧迫の程度を調節する。
- (5)使用后、必要に応じて洗浄・消毒等を行う。

【使用上の注意事項】

1. 本品を用いた体外循環回路の接続・使用に当たっては学会のガイドライン等、最新の情報を参考とすること。

<参考> 日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会、
日本人工臓器外科学会、日本体外循環技術医学会、
日本医療器材工業会
：人工心肺装置の標準的接続方法およびそれらに応じた安全
教育等に関するガイドライン

2. 使用上の注意事項

- 1) 本品は非滅菌製品なので滅菌はしないこと。
- 2) 本品の使用開始前にヘッド型式とチューブ径が正しいこと、また、チューブがヘッドの奥まで設置されていることを確認すること。
[チューブが破損する恐れがあります。]
- 3) 本品内部に水や薬品等の液体が入らないようにすること。[劣化および破損が生じる恐れがあります。]

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄、消毒

- 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに拭き取り、消毒する。
- 2) 拭き取り、消毒の際は、内部に水や洗浄液等の薬品が入らないように注意すること。
- 3) 汚染除去に用いる薬品・洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取扱い方法を守る。消毒用エタノールおよび中性洗剤を推奨する。
- 3) 金属タワシ、クレンザー（磨き粉）等は、器具表面が損傷するため使用しないこと。
- 4) 洗浄、消毒後は、腐食防止の為に直ちに乾燥させる。

2. 点検

使用前後に汚れ・破損・変形・可動部の動き等を点検する。

【主要文献】

1. 「人工心肺装置の標準的接続方法およびそれに応じた安全教育等に関するガイドライン」の送付及び人工心肺装置等に係る「使用上の注意」の改定について
2. 日本体外循環技術医学会勧告 人工心肺における安全装置設置基準

【保管方法及び耐用期間等】

本品に機械的負荷を加えた状態で保管しないこと（ハンドルを緩めた状態で保管すること）。

【耐用期間】

指定の保守・点検ならびに消耗品の交換を実施した場合の耐用期間	7年 [自己認証(当社データ)による]
--------------------------------	------------------------

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

販売元：株式会社ジェイ・エム・エス
電話：0120-923-107*
製造販売業者名：株式会社タカトリ
電話：0744-50-8302